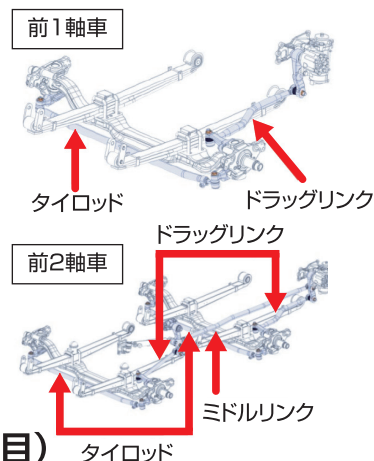


ステアリングリンケージ・ボールジョイント点検方法

対象モデル: クオン 2017年以降のモデル (2017,2022,2023モデル)

ステアリングリンケージ・ボールジョイントについて、緩み、ガタ及び損傷の点検は3か月毎、ダストブーツの亀裂及び損傷有無の点検は12か月毎の定期点検項目になっています。

ダストブーツの損傷は、ボールジョイントの潤滑・摺動不良に繋がるおそれがあります。またボールジョイント部にガタ・異音・動きの渋りを確認した場合には、すでに内部での損傷が始まっている可能性があり、最悪の場合タイロッドの脱落・操舵不良になるおそれがあります。その為、定期点検時の注意事項について、案内いたします。

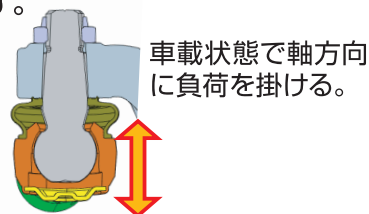


1. タイロッド及びドラッグリンクのガタ確認 (3か月毎の点検項目)

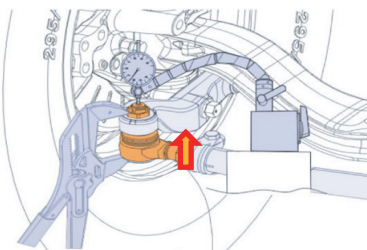
下記にタイロッドの点検方法を案内いたします。

1 車載状態でタイロッドにバー等で負荷を掛け軸方向のガタの有無を確認します。

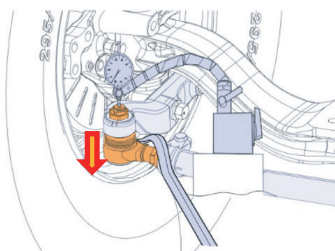
点検のポイント: ボールジョイントが固着している場合、ガタ無しと誤判定する可能性がある為、バー等で確実に負荷を掛けること。



2 ガタが確認された場合にはダイヤルゲージを使用してガタ量を測定します。



バイス等を使用して、ボールジョイントをステアリングアームに密着させ、その状態でダイヤルゲージの0点をセットします。



バー等を使用して、ステアリングアームとボールジョイントの間を垂直方向に広げます。

対象部位	ガタ量基準	備考
タイロッド	0 から 1 mm以内	1・2軸目共通 カーゴ: シャシー番号末尾 18195 以降 トラクタ シャシー番号末尾 22537 以降
1 軸目ドラッグリンク	0 から 1 mm以内	・ UD アクティブステアリング付車 前輪 1・2 軸車共通 シャシー番号末尾 61640 以降の車両対象
		・ 前2軸低床4軸車: アクティブステアリング無車 フロントリーフサス 2024 年3月以前の生産車 シャシー番号末尾 93423 以前
	0 mm	・ UD アクティブステアリング無車 前1 軸車全車 カーゴ: シャシー番号末尾 18195 以降 トラクタ シャシー番号末尾 22537 以降
		・ 前2軸 3軸車: シャシー番号末尾 56356 以降 ・ 前2軸低床4軸車: アクティブステアリング無車 フロントリーフサス 2024 年4月以降の生産車 シャシー番号末尾 93434 以降 ・ 前2軸低床4軸車: フロントエアサス車 シャシー番号末尾 31283 以降
2 軸目ドラッグリンク	0 から 1 mm以内	2024 年3月以前の生産車 シャシー番号末尾 93539 以前の車両対象
	0 mm	2024 年4月以降の生産車 シャシー番号末尾 93542 以降の車両対象

3 上記点検でガタ量が基準値を超えた場合には、必ず部品交換願います。 基準値を超えた状態で使用した場合には、摩耗が加速し脱落に至る可能性があります。

2. ボールジョイント ダストブーツの点検（12か月毎の点検項目）

ダストブーツに穴、亀裂、異常な摩耗およびブーツ内への水入りがいないかを確認します。

点検のポイント：

目視だけでなく手で触ってブーツ破れが起きていないか、摘んで水分が内部から出ないかを確認のこと

1 外観で錆汁やグリスの流出有無および劣化具合の確認

※ ブーツが劣化し、ボールジョイント内部への水浸入や、グリスが内部から染み出していると推定されるため



グリスが染み出している例



ボールジョイント全体に錆汁付着の例



摘んでブーツがひび割れた例

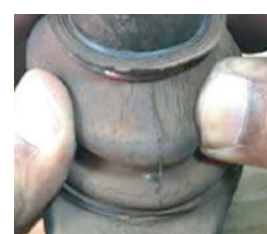
2 更にダストブーツの汚れを落とした上で以下確認

●ダストブーツのラバー表面に穴、亀裂があるか



●ダストブーツのラバー表面に明らかな亀裂、穴でなくても、擦り切れ、摩耗痕のような細かい傷があるか

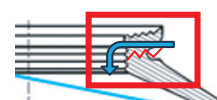
※貫通亀裂になっていなくても、表面に傷、亀裂が見つかった場合は異常と判断



摘んで細かなひび割れを検出

●ダストブーツのリップ部に損傷があるか

※リップ部に損傷および欠損がある場合には、ボールジョイント上側から水が浸入する可能性があります。



リップ部の損傷により、シール性能が低下します。

3 上記点検で異常を確認された場合は、必ず部品交換願います。

異常がある状態で使用した場合には、ボールジョイントの潤滑不良により摩耗が加速し脱落に至る可能性があります。

おことわり

メンテナンスにおいて、UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証・補償の対象になりませんのでご注意ください。